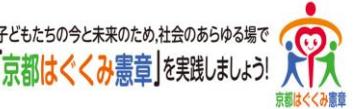


桂川だより

令和6年度
第2回学校評価特別号
京都市立桂川小学校
校長 佐久間 寧子



第2回子ども育みアンケートの結果から

学校教育目標	めざす子ども像
自ら学び、 心豊かに仲間と未来を拓く子の育成	<p>か 感謝する子、感謝される子 つ つよく、しなやかな心と体の子 ら らしさを認め、つながりを大切にする子 が 学習に進んで取り組む子</p>

アンケート結果集計表

質問ごとの回答の「そう思う」を○、「大体そう思う」を●、「あまりそう思わない」を△、「そう思わない」を▲で表示しています。めざす子ども像（か・つ・ら・が・わ）ごとにまとめました。数字の上段は今年度6月、下段（太字）は今回の結果です。塗りつぶしの部分について、裏面に取り上げています。

1月に実施しました第2回子ども育みアンケートの結果をお知らせいたします。

京都市の学校教育の重点、及び、本校の学校教育目標に照らし合わせた項目を設定し、「保護者」「児童」「教職員」それぞれの自己評価という形でのアンケートとしています。3者がそれぞれに自分自身の取組やかかわりを振り返り、見直しの視点を明らかにするとともに、今後の取組の改善につなげられればと考えます。

	児童				保護者				教職員						
	質問項目	○	●	△	▲	質問項目	○	●	△	▲	質問項目	○	●	△	▲
か	がっこうは たのしい。	65 63	23 25	7 7	5 4	わが子が楽しく通学できるよう、学校での出来事で楽しかったことを中心に家庭で話題にしている。	50 42	46 51	4 7	1 0	すべての子どもが、楽しく学校生活を送れるよう、桂川スタンダードをもとに環境づくりをしている。	24 30	72 63	3 4	0 4
	ともだちや せんせい ちいきのかたに じぶんから すすんで あいさつをしている。	49 43	35 40	12 14	4 4	わが子が、家庭や地域、学校で挨拶できるよう声をかけている。	54 49	41 47	6 4	0 0	教職員自ら積極的にあいさつし、子どもたちにも声かけをしている。	71 59	29 37	0 4	0 0
つ	はやねはやおきをし まいにち あさご はんをたべている。	53 43	35 37	9 15	3 5	わが子が、早寝・早起きをし、毎日朝ごはんを食べるようにしている。	64 58	32 36	4 6	0 0	子どもたちが規則正しい生活が送れるよう、声をかけたり働きかけたりしている。	39 41	55 52	6 7	0 0
	きまりややくそくを まもって たのしくせ いかつしている。	60 51	34 40	4 7	2 2	家庭での決まりや約束を決め、守らせている。	56 53	42 44	3 3	0 0	子どもが、きまりや約束を守って生活できるよう、桂川スタンダードの実践を進めている。	32 41	65 52	3 4	0 4
	じぶんのことは じぶんできめ よいこう どうができる。	49 40	40 47	8 11	3 2	わが子が、できるだけ自分で考えて正しく判断し行動できるように働きかけている。	39 38	59 58	2 4	0 0	子どもが自分で考え、正しく判断し行動できるよう支援している。	42 52	55 48	3 0	0 0
ら	ともだちを たいせつにし なかよくして いる。	77 77	19 21	3 2	1 0	わが子が友達を大切に仲良くするよう働きかけている。	61 58	38 39	1 3	0 0	互いに思いやり、支え合う学級づくりができる。	30 43	63 52	7 5	0 0
	ともだちの よいところを みつけられ る。	53 62	34 31	9 5	4 2	子供の良さを認め、ほめている。	45 45	52 50	3 5	0 0	子どものよさを積極的に見つけ、ほめている。	52 56	45 41	3 4	0 0
が	じゅぎょうは よくわかる。	57 48	38 46	4 5	1 1	わが子が学習を理解しているかを宿題やテストで把握し、支援している。	34 30	62 62	4 8	1 0	子どもたちの、「わかる・できる」を大切にした授業の工夫と実践を日々行っている。	33 36	60 64	7 0	0 0
	まいにち すすんで かていがくしゅうを している。	50 36	30 38	15 21	5 5	わが子に家庭学習する習慣がつくよう働きかけている。	39 38	49 53	10 9	1 0	日々の授業と連動した家庭学習課題を設定し、日々の点検をしている。	54 38	38 57	8 5	0 0
	あさくしょや それいがいのじかんにも ほんをよんでいる。	46 32	28 26	15 25	11 17	わが子が本をよく読むように読み聞かせをしたり勧めたりしている。	23 22	45 39	29 33	4 5	子どもに読書習慣が身につくよう、読書ノートを有効活用したり、子どもたちに声かけをしている。	44 19	44 43	11 33	0 5
わ	じゅぎょうちゅうともだちと かんがえ を つたえあっている。	45 43	42 44	10 10	3 3	自分の考えをしっかり伝えられるようになるよう励ましている。	36 35	61 60	2 5	0 0	子ども主体の学び合いの場を設定している。	13 24	77 76	10 0	0 0
その他の						HP やお便り・参観日などで、学校の様子や教育方針をわかっている。	23 22	69 69	6 7	0 0	HP や学級通信、懇談会などで、学校の様子や教育方針を保護者に伝えている。	44 40	37 44	19 12	0 4

アンケート結果について

・児童の「友達を大切にし、仲良くしている。」の項目で、「そう思う」「大体そう思う」と回答した割合が98%でした。また、児童の「友達の良いところを見つけられる。」の項目では、「そう思う」「大体そう思う」と回答した割合は93%となり、前回と比べ6ポイント向上が見られました。児童アンケートの結果から、子どもたちが友達を大切にしたり、友達を認めたりすることを大事なことを捉え、実践していると考えていることが分かります。



日々の子ども達の様子を見ていると、授業中ではみんなが学習に集中できるように取り組む姿や、困っている友達がいれば優しく声をかける姿など、友達とのつながりを大切にする姿がたくさん見られます。子ども同士ですので、時には思いがすれ違い、トラブルになることもありますが、そこから人との関係について考える機会ととらえて過ごしてほしいと考え、日々子どもたちと関わっています。

教職員の「互いに思いやり、支え合う学級づくりができている。」「そう思う」と回答した割合は、前回と比べ13ポイント向上しました。また、教職員の「子どものよさを積極的に見つけ、褒めている。」「そう思う」と回答した割合は、前回と比べ4ポイント向上しました。教職員全体としても、子ども同士のつながりを大切にした取組を進めていこうとしていることが見られます。今後も子どもたちが互いに認め合える学校づくりに努めていきたいと考えています。



・児童の「毎日進んで家庭学習をしている。」の項目で、前回の結果と比べ「そう思う」「大体そう思う」と回答した割合が6ポイント減少しました。ご家庭でも、宿題などの家庭学習に前向きに取り組めるよう声をかけていただき、ありがとうございます。多くの子ども達が日々の宿題に取り組み、教室で確認しています。しかし、児童アンケートの結果から「進んで取り組む」ということについて課題が見られるのではないかと考えます。

今年度は、自主学習に力を入れて取り組みを進めてきました。子どもたちの自主学習ノートを見ていると、授業で学習したことをさらに追及する子、苦手を克服する内容の学習を進める子、ノートの書き方を工夫して分かりやすくまとめる子など、自ら進んで取り組む子も見られます。一方で、教科や内容など、毎回決めることが難しく、同じ内容を繰り返している子も見られます。見本となるノートを紹介したり、時には学習内容を個別に相談したりして学習できるようにしてきましたが、まだまだ進んで取り組むことが難しいと感じている子も見られます。

子どもたちが学習する習慣を身につけ、自分の学びを広げていけるよう、ご家庭でも自主学習ノートを見ていただいたり、取り組む内容の相談に乗っていただいたりしていただきますようよろしくお願ひします。



・子どもたちの読書活動についての質問項目で、児童・保護者・教職員の三者で「そう思う・大体そう思う」と回答した割合が前回よりも減少する結果となりました。

学校図書館の活用について、授業中は低学年では積極的に図書館を活用し、本の貸し出しや読書をする時間を確保していますが、高学年になるとつれて、授業内で時間をとることは少なくなっています。休み時間に図書委員会が活動して図書館での貸し出しを行っていますが、本が好きな子は頻繁に活用する一方で、あまり本に興味がない子の活用はあまりないように思います。

本が好きな子にとっても、少し本が苦手と感じる子や興味がない子にとっても、学校では子どもたちが本と触れ合える機会を多く設定することが大切だと考えています。国語や総合的な学習の時間など、学習内容に関連する本を教室に設置し、子どもたちが身近に読めるようにし、子どもたちの学習内容を深めるような取り組みもしています。ご家庭でも、読み聞かせをしたり読書について話題にしたりするなどして、子どもと一緒に読書を楽しんでみてください。



学校運営協議会より

- ・学校をよりよくしていくため、保護者からもっと気軽に意見を出せるようなアンケートの提示の仕方を工夫することも大切だと考える。
- ・ゲストティーチャーとして子どもたちの学習に関わったが、回を重ねるごとに子どもたちの話の聞き方が良くなり、興味をもって聞いてくれる子が増えたことが嬉しい。また、学習を通して関わることで子どもたちにとって身近な存在となり、登下校の見守りでも挨拶を積極的にする子も増えてきた。
- ・学習の中でゲストティーチャーに関わってもらう授業について、家で楽しそうに話す子どもの姿が見られた。とても楽しそうに話し、興味をもって聞いているということが分かり、よりよい学びにつながっていると感じる。
- ・家庭でフレンドリータイムの活動について子どもから話を聞いた。学年を越えた子ども同士のつながりがあり、高学年に憧れる思いや低学年を大切にする思いがお互いにもてる取り組みは続けてほしい。
- ・児童のアンケート項目「早寝早起きをし、毎日朝ごはんを食べている。」について、朝ごはんを食べていない子や規則正しい就寝・起床時間でない子もいるのではないかということが分かる。学校としては、積極的に保護者に情報を発信し子どもたちの健康的な生活を支えてほしい。
- ・絵本サークル「本のたね」では、毎週読み聞かせを聞きに来る子が見られ、本に興味をもってくれる機会となっていれば嬉しいと感じている。子どもたちの読書活動の充実のため、今後も工夫して子どもたちに関わっていきたい。
- ・メディアの発達により、活字離れが見られる時代である。先生の推薦図書を手に取れるように設置するなど、子どもたちの興味に沿った本の提示の工夫が考えられる。